

日本産業衛生学会東北地方会ニュース

# みちのく

No.59

5/31

2018

発行／平成 30 年 5 月 31 日・発行所／日本産業衛生学会東北地方会事務局

住所／〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 (東北大学大学院医学系研究科産業医学分野内)

電話／022-717-7874・FAX／022-717-7883・e-mail/sanei-michinoku@doh.med.tohoku.ac.jp・発行人／黒澤 一

## 地方会開催にあたって

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野  
教授・統括産業医 黒澤 一

今年度の第77回日本産業衛生学会東北地方会は、東北大学医学部開設百周年記念ホール（星陵オーデトリウム）を会場として開催されます。東北大学で毎年行っている日本医師会認定産業医制度研修会（東北大学産業医学研修会）の主会場にしていますので、すでに場所をご存知の方も多いのではと思います。恒例の初日の事業所見学は JR 東日本新幹線総合車両センターにご協力を仰いで行う予定です。

さて、政府が進める働き方改革は、最近の混乱で先行き不透明となっていますが、その一方、一部の企業では法律に先んじて対策が進んでいるようです。また、過労死対策やストレスチェック制度の創設など大きなことが次々と世の中に登場しており、その流れの中、産業衛生の分野も大きな変革期のただ中にあるのかもしれませんが。厚生労働省の最近の施策やその案をみると、産業医をはじめとした産業衛生スタッフに大きな役割を期待していることをヒシヒシと感じられます。厚労省の改革に道連れにされていると受動的なスタンスをとるのか、はたまた改革に乗じてチャンスとして活かそうと積極的なスタンスをとるのか、受け取り方は様々のようです。

日本医師会の産業保健委員会は、この3月に会長諮問への答申を出しています。その中に、産業医を対象としたストレスチェックに関するアンケート結果が掲載されています。本制度によって、産業衛生に関わる私たちの業務が増えました。それに対して、ストレスチェック制度の効果を疑問視し、負担増に不満を示すネガティブな声が圧倒的に多かったのが印象的でした。厚労省の改革の「道連れ」にされるのはいやだ、という感じでしょうか。一方で、積極的にこの機会を活かしていこうとする意見や制度に関する建設的意見も少数ながらありました。嫌々仕事をするのと、喜々として仕事をするのと、同じことなら後者のほうがストレスなくハッピーであることは明らかであるはずですが。産業衛生の仕事がどうしたらハッピーになるのか、やりがいとか生きがいへの道を開く視点をもつように心掛けたいと思うこのごろです。

この度の地方会では、「変化する産業保健と未来」をテーマとしました。特別講演では、信州大学の野見山先生をお招きし、「産業保健の現状の課題と学会の役割」とのタイトルでご講演いただきます。変革期にあるといわれる産業保健がどのような方向に向かうのか、一般演題、各部会の話し合いなども含め、考えていければと思っております。会場があふれるほどの皆様の積極的なご参加と、クレーンをかけても冷やしきれないほどの熱いご討論を期待しております。

## 第77回 日本産業衛生学会東北地方会開催要項

### メインテーマ：「変化する産業保健と未来」

学会長： 黒澤 一  
東北大学大学院医学系研究科産業医学分野

1. 会期：2018年7月27日(金)～28日(土)
2. 会場：〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1  
東北大学医学部開設百周年記念ホール星陵オーデトリウム講堂・星陵会館
3. 参加費：2,000円
4. 参加申込：参加申込書 を下記事務局あて7月6日(金)までにE-mail 又はFax にてお送り下さい。(参加申込書を同封いたします。学会のみの参加は当日受付も可能です)
5. 発表・講演・その他企画
  - 1) 一般講演：7月28日(土) 9:00～12:00
    - ・ 会場：星陵オーデトリウム講堂
    - ・ 演題発表：口演(質疑含め12分)として募集します。
    - ・ 発表申込：E-mail で6月15日(金)までに、事務局までお願いします。
    - ・ 発表はPCでの発表のみとします。
    - ・ 抄録集を作成しますので、6月15日(金)までに1演題につき演題名、演者名、所属、本文、図表等を含むWord形式にて、A4サイズ1ページの抄録原稿をE-mailでお送り下さい。
    - ・ 別に学会誌掲載用の抄録(400字以内、図なし)も当日までにご提出下さい。
  - 2) 役員会：7月28日(土) 12:00～12:50
    - ・ 会場：星陵会館大会議室
  - 3) 総会：7月28日(土) 13:00～13:20
    - ・ 会場：星陵オーデトリウム講堂
  - 4) 特別講演：7月28日(土) 13:30～15:00
    - ・ 会場：星陵オーデトリウム講堂
    - ・ 演者：信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室 野見山哲生 教授
    - ・ 演題：「産業保健の現状の課題と学会の役割」
  - 5) 各部会：7月28日(土) 15:10～16:40
    - 第22回産業医協議会 (星陵オーデトリウム講堂)
    - 第25回産業看護のつどい (星陵会館大会議室)
    - 第13回産業衛生技術部会 (星陵会館小会議室1)
    - 産業歯科保健部会 (星陵会館小会議室2)
  - 6) その他の行事予定
    - ①事業所見学 7月27日(金) 14:00～17:00
      - 見学事業所：JR東日本 新幹線総合車両センター
      - 〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府新谷地脇
      - 募集人数：30名(要事前申込)
      - 事業所見学参加申し込みについては、6月4日(月)から6月25日(月)まで受付いたします。
      - E-mailにて件名に「事業所見学申込」と記載の上事務局に申し込んで下さい。

当日は 12 : 50 に仙台駅東口中央改札前(ステンドグラス前)に集合して下さい

②川上先生を交えて理事長と語ろう 7月27日(金) 18:00~18:30

会場: ANA ホリディイン仙台 ※当日参加も可能です

③懇親会 7月27日(金) 18:30 開宴予定

会場: ANA ホリディイン仙台

参加費: 6,000 円

なお、日本医師会認定産業医制度における産業医研修として、事業所見学(生涯 実地3単位)、特別講演(生涯専門 1.5単位)、産業医協議会(生涯専門 1.5単位)の単位を申請しております。日本産業衛生学会産業看護部会「産業保健看護専門家制度」単位を申請予定です。

学会事務局

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野内

「第77回日本産業衛生学会東北地方会」学会事務局

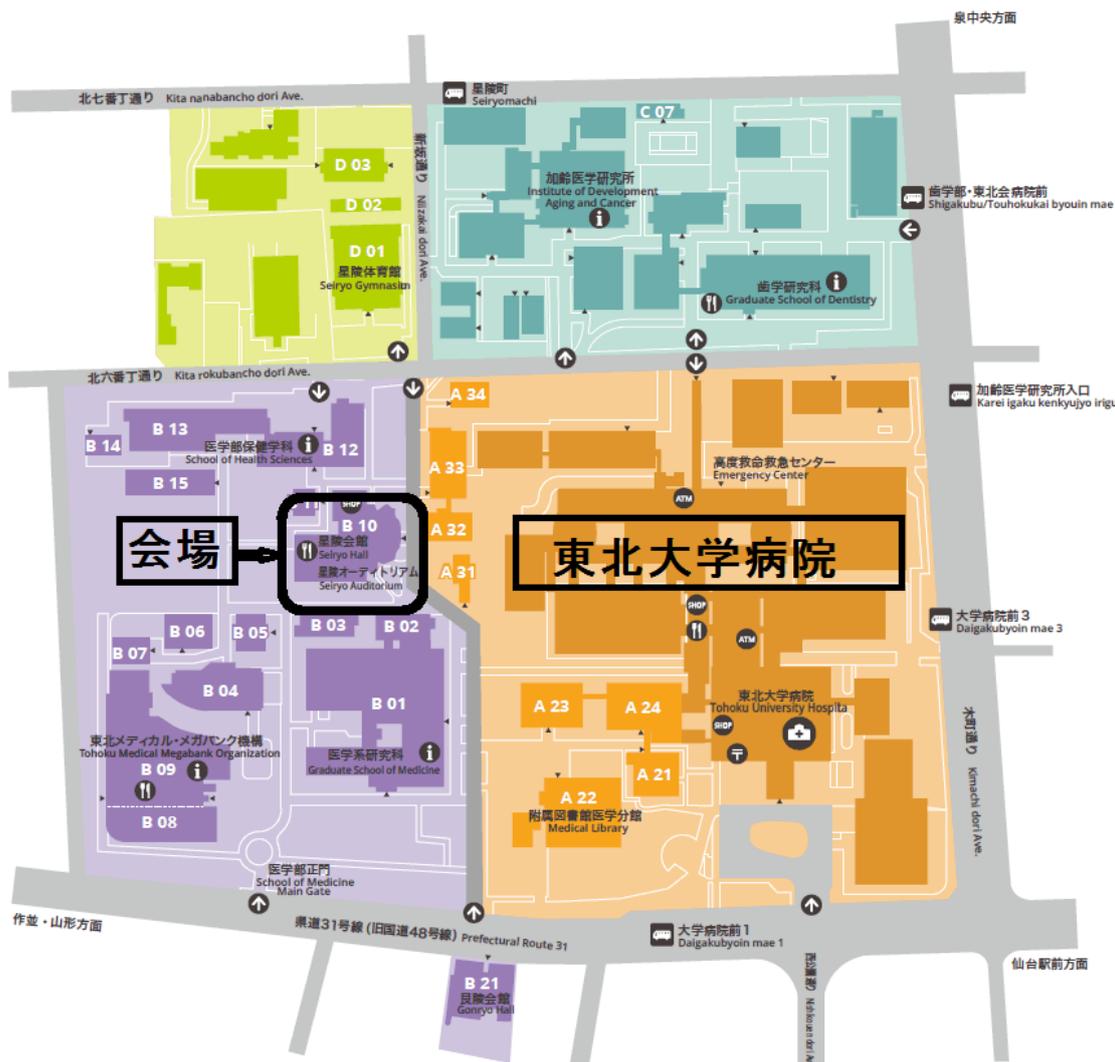
担当: 大河内 真也 (窓口: 畠山)

TEL: 022-717-7874 FAX: 022-717-7883

E-mail: sanei-michinoku@doh.med.tohoku.ac.jp

HP: http://www.doh.med.tohoku.ac.jp/index.html

会場アクセス 東北大学星陵キャンパス内



## 第22回産業医協議会

会場：星陵オーデトリウム講堂

幹事：菅原保 各務竹康

演題：医療と職場で支える両立支援

講師：江口尚 先生(北里大学医学部公衆衛生学 講師)

## 第25回産業看護のつどい

会場：星陵会館大会議室

幹事：村越亜弥子

第77回日本産業衛生学会東北地方会が、今年は宮城で開催されます。その中で、毎年「産業看護のつどい」として今年はYKK AP(株)の佐々木久美子保健師を講師にお迎えして、「地域・職域連携の良好事例」と題してお話を頂きます。なかなかうまくいかない産業保健の地域との連携を、見事なリーダーシップでつないでいる事例をご紹介します。また、来年は第29回全国協議会も宮城で開催されます。この2月に運営委員会と事務局が立ち上がり、準備を進めているところです。是非、多くの皆様に演題をご登録頂き、ご参加頂ければと思います。引き続きの東北産業看護部会の課題として、産業保健看護専門化制度への移行がうまく進んでいない、という事です。旧制度からの移行時期は終了しました。今後はまず1月の登録者試験を受けて頂き、その後、専門家→上級専門家となります。他の地域では、この制度が広がりつつあり、会場も東京だけであったものが、来年1月の登録者試験は、受験者が多い順に、近畿・九州等でも実施予定です。東北はなかなか人数が集まらず、来年の1月の東北開催は難しそうですが、今後人数が集まれば、東北での開催も可能となります。皆様のご協力、是非ともよろしくお願い致します。

## 第13回産業衛生技術部会

会場：星陵会館小会議室1

幹事：河合直樹

地元宮城県で活動する労働衛生コンサルタント 花上恭二氏から、話題提供をしていただきながら、気軽な情報交換を行います。(飲み物・お茶菓子付) また、来年の全国協議会の開催に向け、部会として、どんな行事を企画するかについても意見交換したいと思っています。飛び入り大歓迎です。

## 産業歯科保健部会

会場：星陵会館小会議室2

幹事：井川資英

歯科保健部会では15:10から1時間程懇親会を行う予定で、会場を準備しております。皆様の日常の歯科医療及びコンサルタントとしての活動など、幅広い視点から情報交換を行いながら、親睦を深めていただければ幸甚に存じます。どうぞ大勢の方々のご参加をお待ちしております。

## 事業場紹介 第二回

## 健診機関に勤務しています

公益財団法人岩手県予防医学協会  
産業保健部長 茂木 隆

1997年4月から株式会社東芝愛知工場（愛知県瀬戸市）に、1999年5月から岩手東芝エレクトロニクス株式会社（岩手県北上市）に、それぞれ専属産業医として勤務してまいりました。2016年2月から現在の職場に勤務しております。産業保健領域の健康診断での診察とストレスチェックを中心に活動し、協会経由で依頼のあった数社の嘱託産業医もしています。

岩手県予防医学協会は1970年に設立され、1971年から巡回健診を開始、1978年には作業環境測定機関として認可されています。学校保健、地域保健、産業保健、人間ドック、健康教育などの事業に加え、2015年からは敷地内に幼老統合施設を建築し、その事業を開始しています。また専門外来棟を増築し、2018年4月から運用しています。職員は約600名で、医師は常勤12名の他に嘱託医師多数がおります。

産業保健については、健康診断の実施数で見ると、事業全体の約30%で、ストレスチェックや職域における特定保健指導等を合わせればさらに大きな割合となります。その中でも主に、定期健康診断や特殊健康診断の診察、特殊健康診断結果の判定、ストレスチェック後の医師面接や長時間労働者の医師面接を行っています。

専属産業医の立場とは異なり、外部専門機関の医師としての働き方にその限界と可能性を感じています。専属産業医であれば、会社の内部事情にある程度通じ、複雑な人間関係をも把握することが可能で、個々の労働者とも長いスパンでの付き合いがありました。健診機関の医師の立場では、健康上の問題に対しても踏み込んだ指導は難しく、ちょっとアドバイスする程度になります。医師面接も一方的な話を聴き、会話し、書類をつくり終わってしまい、その後どうなったかわからないことがほとんどです。逆に素直に先入観なく話を聴くので、産業医の立場では聴くことのできないいろいろなことも話してもらえます。

いろいろな事業場を訪問するのに、そこでは職場見学まではできないのが残念です。それでも、実に様々な業種・業態があり、たとえ同じ会社であっても工場や支店・営業所が違えば、そこで働く人々に独特のカラーがあることに気づきます。また、いろいろな職種の人と関わる中で、それぞれの仕事の態様・あり様を感じ、新たに発見することが多いです。

まだまだ日々勉強です。今後も皆様のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

# 産業看護とうほく

第33号 2018.5

発行者:日本産業衛生学会東北地方会 産業看護部会

連絡先:〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学 看護学科 千葉敦子

発行責任者:千葉敦子・村越亜弥子

## ◎第25回産業看護のつどい ご案内

下記の日程で『第25回産業看護のつどい』を開催いたします。  
皆様、お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

[日 時] 2018年7月28日(土)15:10~16:40

[場 所] 東北大学医学部開設百周年記念ホール星陵会館大会議室  
宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

[参加費] 学会参加費 2,000円

### [プログラム]

15:10~16:10 講演「地域・職域連携の良好事例」

講師 YKK AP株式会社

生産本部 東北製造所

佐々木 久美子氏

16:10~16:20 質疑応答

16:20~16:40 産業看護部会総会

[参加申し込み] 地方会参加申込書にてお申し込み下さい



### 産業看護部会入会者募集中

日本産業衛生学会東北地方会産業看護部会は、働く人達の身近で健康支援ができる産業看護職として、自らの質の向上に向けて研鑽することをめざして活動しています。

しかし、残念ながら東北地方会産業看護部会の会員数は多くはありません。会員の皆様はお近くの産業看護職の方々にお声をかけていただいて入会を勧めていただくと幸いです。



## 各県の産業看護部会活動報告

**[青森]** 産業保健総合支援センター主催の産業看護職を対象とした研修会を今年度は7回実施の予定。来年度は、保険事業のまとめ方と活用方法～評価のための統計技術の基礎～を大学のPC室で実際に演習を交えて行う予定。3月5日に「短命県返上に向けた職場での取組～産業看護職への期待」中路重之先生の研修会が、健保連、県産業看護者協議会、産業保健総合支援センターの三者共催研修会として開催された。

**[秋田]** 秋田保健総合支援センターの産業看護職交流会を1月に開催。産業保健総合支援センターの研修は「脳血管疾患を発症した人の治療と職業の両立支援のためにできる事」など実施していく予定。秋田大学保健学科の学生に1月に「産業保健活動の実際」の講義(3年次)と12月に見学実習(保健師専攻4年次)を行う。県を挙げて「10年後の健康寿命日本一を目指そう」をスローガンに実践しようとしている。

**[山形]** 産業保健総合支援センター主催の研修会として、カウンセリング研修で「傾聴の意義と傾聴技法(傾聴による面接実習)」。ストレスチェック時代のメンタルヘルス対策として一次予防、二次予防、三次予防について。定期健診事後措置口腔保健研修と職場での体力づくり研修会を県内各地を巡回し、同内容で各2回実施する。

**[岩手]** 9月とH30年3月に産業看護職研修会を岩手産業保健総合支援センター・日本産業衛生学会東北地方会産業看護部会の共催により実施した。9月は「発達障害について～発達障害の特徴と事例を通して関わり方を学ぶ～」、3月は「治療と職業生活の両立支援の実際」「障害者職業支援の実施」と題して実施した。

**[宮城]** 為になる産業保健勉強会を継続。第132回は6月「ストレスチェックについて」、第133回は9月「産業保健スタッフのための過重労働対策」第134回は1月「健康と生産性の関連から見る健康経営」を実施した。就労支援セミナーを東北労災病院治療就労両立支援センター主催で「がんになっても働き続ける～中小企業での支援につなげる～」を開催。宮城産業保健総合支援センター主催で「休職と復職を繰り返している社員への対応」を産業看護職研修・交流会として実施した。

**[福島]** 福島産業看護研究会(インテル):福島県内の産業看護職のネットワーク。隔月で自主的勉強会実施。2018年は「新たな視点で健康支援を考える」がテーマに開催予定。産業看護協議会と産業保健総合支援センターと共催で年2回研修会を開催している。2月は「ストレスチェックの2年目の実施状況」事例報告、グループ討議実施。



### 編集後記

昨年度から青森の運営委員になりました。微力ながら皆様のお役に立てるよう、お手伝いさせて頂きたいと思っております。よろしく申し上げます。(青森県:七尾郁子)

## 会員の異動（平成 29 年 12 月から平成 30 年 4 月）

### ■ 青森県

転入 美濃 陽介（北海道から）

新入会 蝦名 由香理

（青森オリンパス株式会社）

秋田 美季

（東北郵政健康管理センター青森分室）

竹林 正樹

（青森県立保健大学）

退会 山口 寛子

### ■ 岩手県

転入 青柳 美樹（神奈川県から）

転出 鈴木 孝志（東京都へ）

### ■ 宮城県

転入 平野 淳（愛知県から）

新入会 大島 実佐子

（JR 仙台病院健康管理センター）

高橋 雅紀

（社会医療法人康陽会 中嶋病院）

石井 美和子

（宮城県警察）

菊池 広大

（リコーインダストリー株式会社東北事業所）

齋藤 紗弥子

（全国土木建築国民健康保険組合仙台健康支援室）

転出 轟 伊佐雄（兵庫県へ）

退会 鈴木 宏

### ■ 山形県

退会 佐々木 大輔

### ■ 福島県

新入会 松本 勇貴

（総合南東北病院）

馬場 優

（奥羽大学歯学部附属病院）

高山 聡子

（相双保健福祉事務所 いわき出張所）

中田 陽子

（公益財団法人 福島県労働保健センター）

佐藤 望

（公益財団法人 福島県労働保健センター）

永井 晶子

（公益財団法人 福島県労働保健センター）

高橋 真樹

（公益財団法人 福島県労働保健センター）

阿部 有美

（公益財団法人 福島県労働保健センター）

村田 友香

（公益財団法人 福島県労働保健センター）

退会 菅野 晶夫

### 【編集後記】

早いもので、今年も、地方会の夏が近づいてきました。今回の「みちのく」は、例年のように、来る 7 月 27 日、28 日に仙台市で開催する第 77 回日本産業衛生学会東北地方会のご案内を中心とした内容となりました。暑さ厳しい時節かと存じますが、是非、ご参加いただき、地方会活性化につながる活発な意見交換をしていただくと共に、仲間との懇親を深めていただきたいと思います。

本年も、前号に引き続き、事業場紹介を掲載いたしました。第 2 回目として、岩手県予防医学協会の茂木隆先生に原稿を御願いたしました。茂木先生には、ご多忙の中、迅速にご対応いただきましたこと、深謝申し上げます。

最後に、来年、2019 年の第 29 回日本産業衛生学会全国協議会は、東北地方会の担当で、2019 年 9 月 12 日～14 日に、仙台国際センターにて開催することが決定いたしました。早速、ポスターが完成いたしましたので、同封させていただきます。東北地方会会員の力を結集して成功に繋がりますよう、ご協力の程、宜しく御願申し上げます。（T. I.）